

目次

序	3
---	---

一 近代中国海軍とは何か	3
二 先行研究の検討	6
三 本書の課題と方法	9
四 本書の章別構成と関連論文	11

第一章 北洋海軍と日本——その日本訪問を中心に——	15
---------------------------	----

はじめに	15
------	----

第一節 北洋海軍の創立	17
-------------	----

一 北洋艦隊の編成	17
二 南洋・北洋海軍統一の試み	21

第二節 北洋艦隊の日本寄港と日本の反応	24
---------------------	----

一 第一次日本訪問（一八八六年）と長崎事件	24
二 第二次日本訪問（一八九一年）	28
三 第三次日本訪問（一八九二年）	31

第三節 日本海軍の増強と対日敗戦	34
------------------	----

一	日本海軍の強化	34
二	北洋海軍の敗戦、消滅	39
おわりに		44
第二章 日清戦争後の海軍再建		
はじめに		
第一節	日清戦争後の海軍機構の再建	53
一	海軍処の設置	55
二	載豊政権と軍権中央主権化	58
三	中央統括機構の試み・籌辦海軍事務処	61
第二節	海軍再建案の提起と国内視察	65
一	再建案の策定・艦隊、軍港、人材	65
二	国内海軍視察	68
第三節	海軍再建の進展	78
一	一七年度建設案	78
二	全国艦隊の統一	80
第四節	海軍再建経費の調達	84
一	海軍再建経費案	85
二	三つの資金調達法	86
三	内 帑 金	89
おわりに		91

第三章 清末の海軍視察と日本の対応（一九一〇年）

はじめに

第一節 清末海軍再建に対する日本の態度・方針

第二節 対日海軍視察に至る経緯

一 海外海軍視察の目的

二 欧州海軍視察

三 日米海軍視察の準備

第三節 日本海軍視察と日本の対応

一 清国視察団への接待準備・方針

二 訪米往路の日本視察（一九一〇年八月二十六日～九月四日）

三 訪米復路の日本視察（一九一〇年十月二十三日～十一月一日）

おわりに

第四章 海軍再建の進展と日本モデル導入の試み

はじめに

第一節 海軍部の設立

第二節 日本からの艦船購入

一 張之洞と艦船対日発注の開始

二 砲艦「永豊」「永翔」の建造

第三節 留日海軍学生の派遣

一 商船学校入学に至る経緯

二 海軍術科学校へ……………	139
第四節 日本海軍教習の招聘……………	146
おわりに……………	150
第五章 一九一〇、二〇年代中国海軍の困難と日米 ——ベツレヘム契約をめぐる——……………	159
はじめに……………	159
第一節 中米海軍借款の成立 ……………	161
一 一九〇八年の米清海軍連携案……………	161
二 清朝海軍視察団のアメリカ訪問……………	163
三 ベツレヘム契約の締結……………	164
第二節 中華民国初期、ベツレヘム契約履行の試み ……………	168
一 三都澳借款……………	169
二 潜水艇借款……………	171
三 江南造船所借款……………	172
第三節 ベツレヘム契約履行延期協定 ……………	175
一 アメリカの覚書（一九二二年五月四日）……………	175
二 五ヶ国合意の形成……………	176
三 中国海軍援助差止協定……………	178
四 中国海軍援助差止協定の批准成立……………	179
おわりに……………	181
第六章 日本留学と東北海軍の発展 ——満洲事変まで——……………	187

はじめに	187
第二節 人材・東北における海軍留日派の結集	189
一 閩系海軍の排斥	189
二 東北地域への集結	192
三 海軍人材の養成	193
第二節 艦隊・江防艦隊から海防艦隊へ	198
一 吉黒江防艦隊の接収	198
二 日本からの艦艇購入	200
第三節 根拠地・海軍発展と地域建設の相互作用	205
一 ハルビン根拠地と松花江航行権回収	205
二 青島、長山八島根拠地と漁業保護	207
おわりに	212
終章 ・結 論	219
史料 ・文献一覧	227
あとがき	247
日中海軍関係略年表	256
索引	262
人名索引	262
事項索引	260